

つきたい力

取組みの概要・ポイント

- 「書くこと」を中心に、相手にわかりやすくつたえる力
- 試行錯誤しながら、書いたり表現したりする力

- ・児童と授業者がシラバスやルーブリック評価を共有し、授業改善、学ぶ意欲の向上をめざした。
- ・学習内容をもとに日記の系統表を作成し、書く技能をさらに活用・習得することをめざした。
- ・児童が国語科で習得した書く技能を、他教科でも積極的に活用していけるよう研究を進めた。

具体的な取組みの内容

①ルーブリック評価の活用

何を書くか、どう評価するかを共有するための工夫

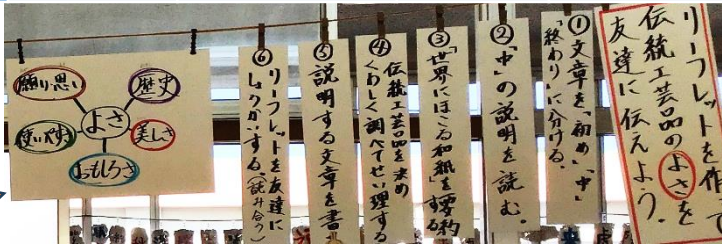
- (1) 何を書くか、また、どれだけ書いているかをふり返るルーブリックを共有した。
- (2) 児童が書く過程を意識し、ゴールイメージを持って取り組めるように工夫した。
- (3) 他教科でも積極的に書く技能を活用して研究を進めた。

(1) 児童と授業者がめざすゴールを共有し、書いた文章を自己評価する際に、ルーブリック評価を活用する【4年生 伝統工芸のよさを伝えよう】

(2) 「書く」活動のどのステップが分かるように掲示している

(3) 他教科でも積極的に書く技能を活用した【音楽科・家庭科】

	①「中」に、選んだ伝統工芸のみりよくを2つ以上の段落に分けて、書くことができた。	②つなぎ言葉を使って、理由や事例を挙げて、文章を書くことができた。	③文章のおかしなところやまちがっているところがない。	④伝統工芸のよさが伝わるように、最後までねばり強く文章を書くことができた。
A	一文を短く区切り、2段落以上に分けて書くことができた。	つなぎ言葉を使い、理由や例と伝えたいこととの関わりがよく分かるように文章を書くことができた。	だれが読んでも分かる正しい文章で書くことができた。	書きたいことが伝わるように、最後までねばり強く文章を書くことができた。
B	2段落以上に分けて書くことができた。	理由や事例を挙げて、文章を書くことができた。	だいたい意味の通じる文章で書くことができた。	文章が仕上がるまで、取り組むことができた。



【音楽科】鑑賞文を書く際に、用いる用語を示した。  
音の重なり、速さ、強さ、くり返し、変化  
【家庭科】ふり返りを書く際に、書く観点を示した。  
今日の学習でわかったこと、できるようになったこと  
これから自分の生活に役立てたいこと・友だちと協力したこと

②日記の系統表の活用

めあてをもって日記を書くための工夫

(日常的に書く場面を設定して日記の取組みを進めた)

- (1) 日記の系統表に書いてあるめあてをもとに、日記を書く。
- (2) 書いた文章を読み直し、めあてが達成できている部分に線を引き、めあての番号を書く。
- (3) めあての達成度をふり返り、自己評価をする。

系統表について詳しくはコチラ



教科書の学習内容をもとにしている

書くめあてに加え、さまざまな書く方法も記載している

3・4年生、 進んで書こう。	④ていねいな書き方「～ます。」「～です。」「～ました。」 「～でした。」を使って書く。...
①こそあど言葉を使って書く。(3年上 p.88)...	⑤言い切りの書き方「～だ。」「～である。」「～だった。」を、 使って書く。...
②しゅうしよく語を使って書く。(どんな、どのくらい、いつ、 だれに、何を、だれの、何の、どこを、どのように)(3年下 p.29)	⑥相手や目的に応じて、適切に書く。...
③くわしく思い出して書く。(だれが、いつ、どこで、だれ(何)と、 どうして、どのように)...	⑦自分の考えや書こうとする事が明確になるように、段落と段落との 続き方に注意して書く。...
④物語の場面と組み立てを考えて(始まり、出来事、出来事の解決、 結び)書く。(3年下 p.83)...	⑧書き出しと終末の文を工夫して書く。...
⑤書いた後に読み直して、文章のよいところを見つけたり、まちがい などを正したりする。...	⑨文章の良いところを見つけたり、間違いなどを正したりする。...
⑥感動したことを書く。(考えたこと、くやしかったこと、がんばっ ていること)...	⑩
⑦つなぎ言葉「そして」「だから」「それで」「そのため」「しかも」 「また」「けれども」「例えば」「なぜなら」「ところで」「さて」 などを使って書く。...	⑪

取組みを通しての子どもの変容

- ◎ルーブリック評価を活用することで、自分が書いた文章を見直したり、友だちの文章のよいところを明確な視点を持って見つけたりするようになった。
- ◎「書くこと」のついての研究を進める中で、主体的に取り組む姿勢が育ち、習得したことを他教科でも活用する意欲が向上した。児童アンケートでは、「国語の授業が好きだ」(64%→79%)、「国語の授業で学んだことを他教科でも活用している」(83%→87%)の結果が得られた。
- ◎日記の系統表を活用し、めあてを持って文章を書き、書いた後に自分の文章をふり返り、自分でどれだけ書けたかがわかるようになってきた。